

## 1 学校教育目標

これからの未来を、生き甲斐をもって生きていくことのできる知・徳・体・情操の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざす。  
 ・進んで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・元気な子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「通いたい学校」：児童が安心・安全に過ごすことができ、「できた・分かった」を体感できる学校</li> <li>・「通わせたい学校」：開かれた学校を推進し、保護者・地域が児童の健やかなる成長を実感できる学校</li> <li>・「勤めたい学校」：教職員が協働し支え合い、児童の笑顔から活力をもらえる学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身で課題をとらえ、その解決に向かって粘り強く取り組み、解決していく児童</li> <li>・人や自然との豊かなふれあいを通して、互いに認め合い、励まし合い、尊重し合うことのできる思いやりのある心をもつ児童</li> <li>・健康な体の維持増進と心を鍛えることのできる児童</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に向上心を持ち、児童と一緒に伸びようとする教師</li> <li>・教材研究と授業改善に努め、児童に成就感と達成感を与えられる教師</li> <li>・優しさ、温かさ、厳しさをもって指導し、児童に「愛されている」と実感させられる教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### <学校の現状>

- ・児童は、明るく素直で礼儀正しい。新しい生活様式を守り、落ち着いて学校生活を送っている。学習にも前向きに取り組んでいる。
- ・主幹教諭2名、主任教諭6名を中心に全教職員が互いに学び合い、日々指導力の向上に努めている。
- ・地域、保護者は大変協力的で、「チーム双葉」が機能している。

#### 重点的な取組事項－1 学力向上

- ・年間を通して落ち着いた学習環境を維持することができた。
- ・昨年4月に実施した区学力調査の通過率は、一昨年度よりは若干落ちている。学力向上アクションプランの達成状況も同様である。今年度は、学力向上アクションプランの確実な実施をさらに進めていく。

#### 重点的な取組事項－2 体力の向上

- ・全体で体力テストに向けた取組を行ったので、体力合計点で男女ともに都平均を上回り、ソフトボール投げの記録も全学年で都平均を上回った。
- ・コロナ禍で制限があったが、持久走週間やなわとび週間を工夫して実施することができ、児童は意欲的に取り組むことができた。持久力に課題が残ったので、今年度はさらに実施時期を延ばしていく。
- ・オリンピック・パラリンピック教育アワード校としての取組は、十分とは言えないが、講師を招聘したり投げ方教室を実施したりして、児童の興味・関心を高めることができた。

#### 重点的な取組事項－3 豊かな心の育成

- ・自己肯定感の向上については、取組や指標を見直していく必要があると感じた。
- ・あいさつや校帽・名札の着用については、取組の継続性の効果が見られたと考える。

#### 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	体力の向上	○	○	○	○	○
3	豊かな心の育成	○	○	○	○	○

#### 5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
「基礎学力の定着」と「思考力・判断力・表現力の向上」		国語 82% 算数 85% 次年度想定問題で両教科 75%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 改善	朝学習	全学年 国語 算数	毎週火 (国語) 毎週水 金(算 数) 始業前 15分	【指導者体制】担任・専科 【取組のねらい・目的】 学習内容の復習・確認 【使用教材】 漢字、計算等のドリル学習、 東京ベーシックドリル A Iドリル	該当級の課題 を終えたら、 ミニテストを実施	年度末まで ミニテストで1級以 上進級 低学年 80% 高学年 70%	自己評価の際に記入		
2 継続	双葉検定	2～6年生 国語	土曜授 業時 (月1 回45分 間)	【指導者体制】担任・専科 【取組のねらい・目的】 学習内容の習熟と定着を 図る 【使用教材】漢字ドリル	該当級のミニテ ストが全て合格 したら検定を 実施	年度末まで 1級以上進級 低学年 80% 高学年 70%	自己評価の際に記入		

3 新規	聞き取り 書き取り チャレンジ	全学年 国語	児童朝 会時 月2回	【指導者体制】 担任 【取組のねらい・目的】 聞き取る力、書く力の向上 【使用教材】 児童朝会での校長講話	指定文字数以 上、2段落で まとめて自分 の考えを書 く。	8割以上	<b>自己評価の際に記入</b>
4 継続	寺子屋 「ふたば」	全学年 希望者	月に1 ～2回 水曜日 午後 1時間	【指導者体制】地域協力 者・学生ボランティア 【取組のねらい・目的】 計算・漢字の習熟や漢検・ 算検に向けた練習 【使用教材】 漢字ドリル、算数ドリル、プリント	実施日数	年間12回以上 実施	
5 継続	家庭学習 習慣の確 立	全学年	家庭学 習	【指導者体制】担任 【取組のねらい・目的】 宿題（漢字・計算・学習日 記）を家庭で取り組み、家 庭学習習慣を定着させる。 【使用教材】 漢字ドリル、算数ドリル、プリント	児童アンケート	児童の自己評 価 提出率9割以 上	
6 改善	I C T教 育の推進	全教員	通常授 業	【指導者体制】担任 【取組のねらい・目的】 児童のI C T活用能力を 向上させる。教員のI C T 活用能力を向上させ、学力 向上を図る。	教員アンケート 児童アンケート (4年生以上)	タブレットを週4 回以上使用し た教員が90% インターネットから必 要な情報を集 めて整理でき る児童が70%	
7 継続	小中合同に よる授業改 善	全教員	全7回	小中9年間を見通した指導 法を工夫し、全教員で授業 改善を進め、児童の学力向 上を図る。	児童アンケート	「授業が分か った」児童が8 割以上	
8 継続	校内研究会 による授業 改善	全教員	全3回	数学的な考え方の育成を 目指す研究主題を設定し、 全教員で授業改善を進め、 児童の学力向上を図る。	児童アンケート	「自力解決が できた」児童が 8割以上	

重点的な取組事項－２		体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
運動に親しみ基礎体力を付ける		①から④の3項目以上の達成	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
①体力テスト	体力合計点で男女とも都平均を上回る ※重点（投力の向上）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育実技研修の実施</li> <li>・外遊びウィークの内容の工夫</li> <li>・バトンスロー等の活用</li> </ul>	自己評価の際に記入		
②日常の遊び時間の確保	中休み 20 分間、昼休み 15 分間の休み時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 2 回の「外遊びウィーク」の実施</li> <li>・アンケートの調査の実施</li> </ul>			
③持久走週間	全回参加の児童が 8 割以上	11 月に持久走週間、持久走記録会を実施			
④なわとび週間	全回参加の児童が 8 割以上	1 月になわ跳び週間、クラス対抗長なわ大会を実施			

重点的な取組事項－3		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を大切にする態度や思いやりの心の育成</li> <li>・自己肯定感の向上・決まりを守る態度の育成</li> </ul>		①から④の3項目以上の達成	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
①自己肯定感の向上	心のアンケート 2 回の比較 学級満足度 3 割が向上	・心のアンケート実施 (6 月・11 月)	自己評価の際に記入		
②いじめ等問題行動の未然防止・早期発見・迅速な対応	24 時間以内の対応・指導	・年 3 回以上のアンケート実施 ・年 2 回以上の聞き取り調査実施			
③あいさつの励行	児童アンケート 低 9 割高 8 割	・毎朝登校時、正門や教室で ・計画委員会の取組「あいさつ運動」			
④校帽の着用・名札の着用	児童アンケート 低 9 割高 8 割	・毎朝登校時、正門・教室で ・看護当番・担任による指導			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

自己評価の際に記入

(3) その他（学校教育活動全般について）